

やししま

笑顔とふれあいの健康ライフ

新型コロナウイルス感染症対策実施中

〒761-0186

香川県高松市屋島西町2105番17

Tel 087-841-9141 Fax 087-841-7392

ホームページアドレス: www.yashima-hp.com

屋島総合病院

検索

発行：企画広報委員会



J.A. 全中国医師会 香川県支部



新年あけましておめでとうございます。

皆様には、爽やかな新春をお迎えのこととお慶びを申し上げます。

病院で患者さんは24時間病気と闘い、頑張り続けています。この闘いに必要なものは気力と体力であり、これらを回復させるのに必要なものは休息です。コロナ禍以前は、外出・外泊・家族や友人との面会などを通じて、患者さんは闘いの中でも一時の憩いを得る事ができていました。コロナ禍に入り、感染・病院内クラスターのリスクから外出・外泊・面会が不能となりました。大切な時間ですら面会が制限されてしまう事態となり、病院は入院から退院まで戦い続ける場になってしまいました。他方、世間では新型コロナウイルス5類移行に伴い社会状況が明らかに変わってきました。コロナ感染者数の発表がなくなりコロナをあまり身近に感じられなくなってきました。街中でもマスクを着用している人は減り、旅行者が増えてきました。社会が徐々にコロナ禍前の様相に戻り、閉塞感から解放されたかのような明るい兆候がでてきました。

しかし、コロナ予防の波及効果で抑制されていたインフルエンザに代表される感染症が、過去に例を見ないスピードで蔓延しました。ハイリスク患者さんが多く入院している病院においては、感染予防の観点から未だにコロナ禍前の状況に戻る事ができません。ウィズコロナの世間とゼロコロナを求められる院内のギャップをいかに調整するか非常に難しい判断を日々求められています。患者さんとご家族・友人との面会が再開され、院内で患者さんやご家族の普段の笑顔が見られる日が一日も早く戻る事を願ってやみません。

最後になりましたが、皆さまにおきまして本年が幸多き年でありますようご祈念申し上げます。



外科部長 堀 志郎

謹賀新年

本年もよろしくお願ひいたします





人工膝関節置換術について



整形外科部長

大西 慶生 先生

専門領域: 膝関節外科、人工膝関節

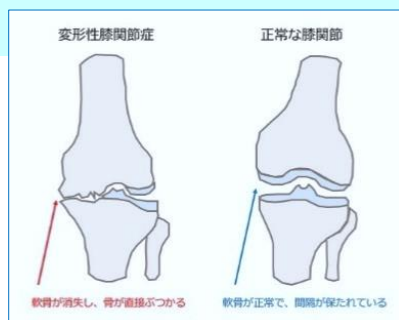
専門医: 日本整形外科学会専門医

外来診療: 月曜日午後、金曜日午前

膝の軟骨がすり減り、激しい痛みを伴う変形性膝関節症は、加齢などが原因となって発症します。保存的治療などで効果が得られず、人工膝関節置換術を受ける患者さんは年々増加しています。

▶ 変形性膝関節症とは？

加齢や体重の増加、仕事による負荷などで軟骨がすり減り、やがて関節が変形してしまう病気です。



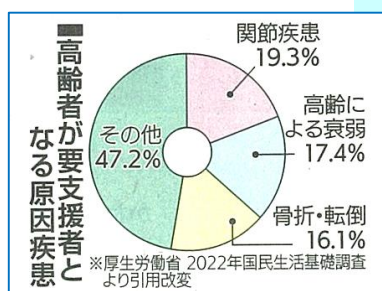
慢性的な痛みが続くことで、歩行や階段の上り下り、正座等の日常生活動作(A DL)が著しく低下します。

▶ 痛みを放置したままにしておく？

膝が痛いので、まず外に出ようという気がなくなります。次第に気分が落ち込み、体を動かす機会が減り、筋力や心肺機能が低下して寝たきりになることも多いです。こうなると本人だけでなく、周りで支援する家族にも負担がかかるようになる場合もあります。

▶ 要支援者となる原因疾患の上位は？

2022年、厚生労働省がまとめた国民生活基礎調査によると、高齢者においては関節疾患が19.3%でトップです。高齢による衰弱が17.4%で続き、骨折・転倒が16.1%となっています。



関節疾患の大部分は関節症によるものと考えられ、高齢者のA DLを左右する極めて重要な疾患と言えます。

▶ 治療はどう行う？

まず保存的治療を実施します。効果が得られない場合は、人工膝関節置換術の検討に入ります。膝関節内の傷んだ部分を取り除き、金属やポリエチレン(医療用人工軟骨)に置き換える手術です。当院では2022年一年間で212件の手術例があります。優れた除痛効果と機能回復をもたらすだけでなく、歩行能力の向上により心血管系の機能改善にも繋がります。

▶ 手術の流れは？

事前に既往歴などを一カ月ほどかけて評価します。関係する医師らが可能と判断すれば手術を行います。全身麻酔で時間は一般的に90分程度です。術後は3~4週間の入院期間中にリハビリを行い、自力歩行ができる、階段昇降ができる、膝が120度以上曲がるなどの条件を満たせば退院となります。

▶ リハビリは？

当院は、県内でも有数のリハビリ施設を擁し、手術翌日からリハビリに取り組みます。退院後の通院リハビリなど患者さんのニーズに合わせて提供しています。患者さんがリハビリに取り組んでいる間に自宅の環境整備も進めてほしいです。例えば段差をなくしたり、手すりを設置したりしてください。そうすることで生活の質(QOL)の低下が防げます。

▶ 膝に痛みや違和感があったら？

日本では自分で症状を判断し、痛みを我慢する人が多いです。そのため、適切な治療の機会を逸している人が多いのも事実です。また、「年だから…」という理由で放置する人も少なくありません。平らな所で片膝にかかる力は体重の約3倍、階段では約5倍とも言われます。膝の痛みには腰から来るものもあり調子が悪と思ったら専門医のいる医療機関で医学的に正しい治療を受けてほしいです。

医師紹介



2023年10・11月に赴任した医師、2024年1月に赴任した医師を紹介いたします。
より良い医療を目指して活躍中です。
今後ともよろしく願いいたします。

*医師紹介は、広報紙を発行するタイミングで掲載しているため、赴任してからの期間が開く場合がございます。

2023年10月赴任

内科医員



さわだ ひかり
澤田 ひかり

専門領域：内科一般、消化器

内科に赴任しました澤田ひかりと申します。香川県立中央病院で初期研修を終了し、香川県立中央病院内科専攻医プログラムの一環として屋島総合病院で働かせていただけたこととなりました。不慣れな点も多く、ご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、病院や香川の医療に貢献できるよう精一杯頑張りますので半年間何卒よろしく願い申し上げます。

2023年10月赴任

小児科医長



なかお やすひろ
中尾 泰浩

小児科専門医

専門領域：小児科一般

この度、屋島総合病院で勤務させて頂くこととなりました小児科医師11年目の中尾泰浩と申します。専門は新生児で9月までは香川大学のNICUで勤務しておりました。当院で出産された赤ちゃんが、安心して過ごして頂けるよう尽力致します。また、小児科専門医でもありますので、発熱・咳嗽といった感染症から便秘や喘息など慢性疾患まで気軽に相談して頂ければと思います。地域の皆様の安心につながるよう努力して参りますのでどうぞ宜しくお願い致します。

2023年10月赴任

外科医員



いしむら こうせい
石村 昂誠

専門領域：一般外科、消化器外科

10月より外科に赴任いたしました石村昂誠と申します。岡山大学卒業し、現在外科専攻医3年目となります。消化器外科医となるべく、日々研鑽を積んでいきたいと考えております。不慣れな点も多く、ご迷惑をおかけすること多いと思いますが、患者様のためになるような手術ができるよう日々精進して参りますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

2023年11月赴任

内科研修医



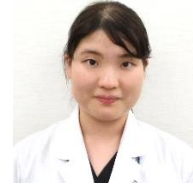
にしだ えり
西田 衣里

専門領域：内科一般

11月より3月まで5ヶ月間内科で研修させていただきます研修医2年目の西田衣里と申します。こちらの病院では消化器内科を中心に多くの内科疾患を勉強できればと思っております。不慣れな点も多く、皆様にご迷惑をおかけしてしまうことも多々あるかもしれませんが、患者様のお役に立てるよう日々精進し、丁寧な治療を心がけたいと思います。ご指導のほど何卒よろしくお願い致します。

2024年1月赴任

産婦人科医員



みやい えいこ
宮井 瑛子

専門領域：産婦人科一般

1月より産婦人科に赴任いたしました、産婦人科専攻医2年目の宮井瑛子と申します。地域の産婦人科医療に少しでも貢献できるよう、また女性のみなさん一人ひとりに最善の医療を提供できるよう、日々精進して参ります。3カ月間という短い期間ですが、何卒よろしくお願い致します。

2024年が始まりました。アレより近く地域・患者さまに寄り添う病院を目指し、今年の病院目標を「SORE」という言葉で表すことにしました。

- Ⓢ Start : スタート (新しく始める)
- Ⓞ Ovation : オベーション (声を出して褒める)
- Ⓡ Respect : リスペクト (敬意を表す)
- ⓔ Effort : エフォート (努力)



写真：2024年1月4日新年祝賀式より

本年の干支は「甲辰（きのえ・たつ）」です。これには「新しいことを始めて、成功する。今まで準備してきたことが形になる」といった意味があるとされています。まさに新たな気持ちでスタートを切り、より良い病院づくりに邁進してまいります。日進月歩の医療に遅れをとることなく、地域・患者さまに寄り添い、100%満足していただける医療を目指し、笑顔で努力いたします。

皆さま方にとって良い一年でありますことを心より祈念しております。また、忌憚のないご意見ご感想もどうぞお聞かせください。

病院長 齊藤誠

「クリスマスコンサート」を開催しました

2023年12月15日(金)に外来ホールにてクリスマスコンサートを開催しました。入院患者さまや地域の方々約110人が来場し、ジャズオーケストラによるクリスマスソングの演奏を楽しまれました。当コンサートは、音楽を通じて患者さまや地域の皆さまに癒しの時間を提供し、地域との連携を図ることを目的に2006年から毎年実施(コロナ禍は中止)し、今年で15回目、4年ぶりの開催となりました。当日は、香川県坂出市を拠点として活躍するビックバンド「SKGジャズ・オーケストラ」が、クリスマスソングを中心に迫力のある演奏を披露し、「音」を「楽」しむ温かいひとときとなりました。



【編集後記】新型コロナウイルス感染症が5類に移行して初めての年末年始となりました。日常生活がある程度戻ってきて、ここ数年とは違った(?) 年末年始をお過ごしになったのではないのでしょうか。ただ、ウイルスは消え去ったわけではなくインフルエンザを含め感染防止対策は必要です。対策が日常生活を妨げるものであってはいけません。ここは感染リスクが高い場所だと思ったらマスクをつけるとか、具合が悪ければ休むとか、日常の何気ない注意が全体の「感染予防力」に繋がってくるのではないのでしょうか。

本年も「広報紙やしま」をよろしくお願いたします。

(企画広報委員会)

